

Non Smoke & **New Standard**

# 『NS溶接サドル』

溶接  
サドルの  
決定版!

- ① スピーディーに溶接可能!
- ② 溶接品質の向上!
- ③ トータルコスト削減!
- ④ 作業環境の改善!

実用新案登録  
【実願2020-000819】



一段落ち  
サイズもあります!!

溶接部であるサドル本体上面と下面と  
側面の亜鉛めっきを**完全除去!**  
わずらわしく時間のかかる亜鉛除去の  
サンダーがけはもう**必要ありません!**

日本消防設備  
安全センター認定取得!

**RIKEN**

Non Smoke & New Standard

# 『NS溶接サドル』



ホールソーの穴径を表示しました。

上面の亜鉛めっきを完全除去しました。

下面の亜鉛めっきを完全除去しました。ガタツキもありません。

継手本体に“芯出しマーク”を表示しました。施工がスピーディー!!

## 特徴

- ① 上面と下面と側面のめっきを完全除去しました。溶接前に行うめっき除去作業は必要ありません。
- ② 溶接部のめっきを取り除いているため、有害な亜鉛ガス発生の危険性がありません。※1
- ③ 作業能率と溶接効率が向上し、経費を削減できます。
- ④ ガスの発生が少なく、作業者に優しいサドルです。※1
- ⑤ 継手表面のめっき(白品)は、カドミウム0.001%(10ppm)未満、鉛0.005%(50ppm)未満の環境対応めっきですので、RoHS指令を完全にクリアしています。
- ⑥ 継手本体に位置決めのための“芯出しマーク”を4点表示しました。施工における品質、作業効率の向上に効果があります。

※1 従来の溶融亜鉛めっき品を溶接する場合、酸化亜鉛のヒュームが発生し、多量に吸収すると金属熱を引き起こすことがあります。

## 適用管

JIS G 3442 水配管用亜鉛めっき鋼管  
 JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管  
 JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼鋼管

FAST10 消防配管用軽量鋼管  
 (一財)日本消防設備安全センター 評定番号:評2020-005号  
 ※呼び径は65~150A、最高使用圧力は1.4MPaとなります。

## 適用流体圧力

流体の状態	最高使用圧力 MPa {kgf/cm <sup>2</sup> }
300℃以下の蒸気、空気 ガス及び油 ※2	1.0 {10.2}
220℃以下の蒸気、空気 ガス、油及び脈動水 ※2・※3	1.4 {14.3}
120℃以下の静流水 ※4	2.0 {20.4}

- ※2 蒸気配管に使用する場合、黒品をご使用ください。  
 ※3 脈動水とは、定常な作動条件で発生し、ほぼ周期的に流動が変動する水流で、過度的な変動は除きます。  
 ※4 静流水とは、脈動または過度的な変動のない水流のことです。

## 種類と呼び径

枝管の呼び径 \ 主管の呼び径	1½	2	2½	3	4	5	6	8
½	●※5	●※5						
¾			●	●	●			
1	●	●	●	●	●	●	●	
1¼			●	●	●	●	●	
1½			●	●	●	●	●	●
2			●	●	●	●	●	●
2½				●	●	●	●	●
3					●	●	●	

※5 YS-Wの½×1½および½×2は(一財)日本消防設備安全センターの認定品ではありません。

- 〈枝管の形状〉 枝部ねじ込み形(YS-S)  
 枝部溶接形(YS-W)  
 〈表面処理〉 溶融亜鉛めっき[ねじ部、溶接部を除く](白品)  
 表面処理なし(黒品)  
 〈材 料〉 JIS G 4051 (機械構造用炭素鋼鋼材S25C)  
 JIS G 5101 (炭素鋼鋳鋼品SC410)

**日本消防設備  
安全センター  
認定取得!**



**一段落ち  
サイズ**

**2×2½、2½×3、3×4の3サイズをラインナップ!  
配管の幅がさらに広がります!**

一段落ちサイズは穴あけ方法が異なります。

**施工(穴あけ)のポイント**

<b>1</b>	サドルの枝管取出し位置Aに、管軸と平行にケガキ線を引く。	
<b>2</b>	ケガキ線と平行にマーキングシールを当ててA点を合わせ、Bの位置(距離Pの位置)に目印をつける。	
<b>3</b>	Bの位置2箇所、直径φDのホールソーで穴を空ける。	
<b>4</b>	W1、W2寸法を確認する。(Cの出っ張り部分は削り落としても良い)	
	プラズマ切断機やマシンングセンタなどにより下の様に長穴をあけても良い。	



同梱のマーキングシール利用で、容易にマーキングできます。

↑ B	↑ A	↑ B
穴φ54-56	枝管中心	穴φ54-56
一段落ち溶接サドル 2×2½ マーキングシール		
シールになっていますのでアングルなどに貼り付けてご利用ください。		
↑ B	↑ A	↑ B
穴φ66-68	枝管中心	穴φ66-68
一段落ち溶接サドル 2½×3 マーキングシール		
シールになっていますのでアングルなどに貼り付けてご利用ください。		
↑ B	↑ A	↑ B
穴φ75-77	枝管中心	穴φ75-77
一段落ち溶接サドル 3×4 マーキングシール		
シールになっていますのでアングルなどに貼り付けてご利用ください。		

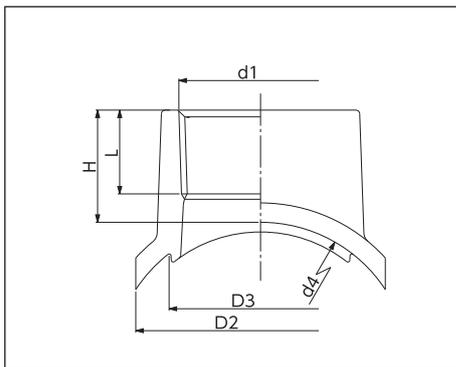
■穴あけ寸法

単位:mm

呼び径	P	φD	W1	W2
2×2½	18~19	φ54~φ56	90~94	54~56
2½×3	20~21	φ66~φ68	106~110	66~68
3×4	23~24	φ75~φ77	121~125	75~77

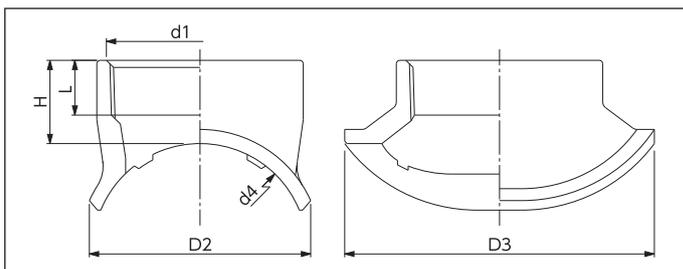
## 形状と寸法

### 枝部ねじ込み形(YS-S)



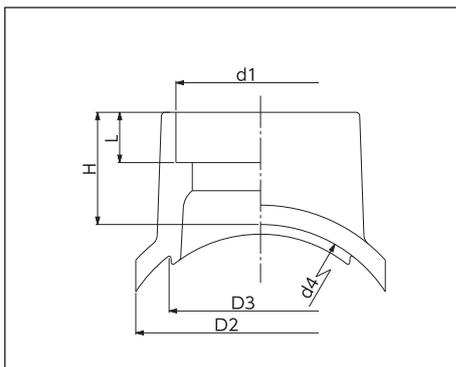
枝管の呼び径	d1	d4	D2	D3	H	L	d3 主管の穴径
1/2	Rc 1/2	主管の外径と同一	42	25.5	25	14	27~29
3/4	Rc 3/4		49.5	31	25	15	33~35
1 主管2以下 主管2以上	Rc 1		54	38	27	18	40~42
			56.5	38	27	18	40~42
1 1/4	Rc 1 1/4		64.5	46	29	20	48~50
1 1/2	Rc 1 1/2		70.5	52	30	20	54~56
2	Rc 2		82.5	64	32	24	66~68
2 1/2	Rc 2 1/2		97.5	79	35	26.5	81~83
3	Rc 3	114.5	92	51	33	94~96	

枝部の各寸法は主管の呼び径によらず同一寸法です。



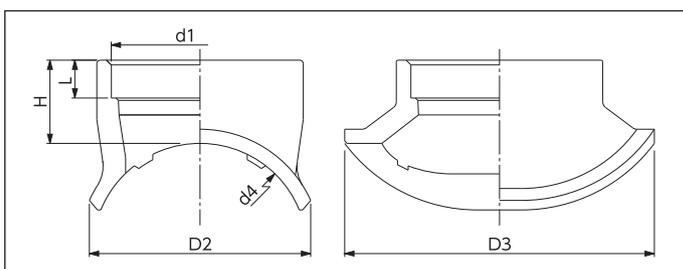
呼び径	d1	d4	D2	D3	H	L	主管の穴
2x2 1/2	Rc 2	主管の外径と同一	72	108	32	24	施工 (穴あけの ポイント参照)
2 1/2 x 3	Rc 2 1/2		89	126	35	26.5	
3x4	Rc 3		103	146	52	33	

### 枝部溶接形(YS-W)



枝管の呼び径	d1	d4	D2	D3	H	L	d3 主管の穴径
1/2	22.2	主管の外径と同一	42	25.5	24.5	9.6	27~29
3/4	27.7		49.5	31	24.5	12.7	33~35
1 主管2以下 主管2以上	34.5		54	38	26.5	12.7	40~42
			56.5	38	26.5	12.7	40~42
1 1/4	43.2		64.5	46	28.5	12.7	48~50
1 1/2	49.1		70.5	52	29.5	12.7	54~56
2	61.1		82.5	64	31.5	15.9	66~68
2 1/2	77.1		97.5	79	34.5	15.9	81~83
3	90.2	114.5	92	50.5	16.4	94~96	

枝部の各寸法は主管の呼び径によらず同一寸法です。



呼び径	d1	d4	D2	D3	H	L	主管の穴
2x2 1/2	61.1	主管の外径と同一	72	108	31.5	15.9	施工 (穴あけの ポイント参照)
2 1/2 x 3	77.1		89	126	34	15.9	
3x4	90.2		103	146	51	16.4	

#### 安全に関する注意事項

##### 腐食、亀裂、漏洩による損害を回避するため

- ・本カタログに記載された「適応流体圧力」以外での条件・環境では使用できません。
- ・加工前に必ず、別紙の施工要領書をお読みになってから施工を行ってください。

#### 免責事項

誤った使用方法、施工上の不具合、取り扱い上の不注意や風水害、地震、雷などの天災、および火災、公害(特殊環境)、塩害、戦争、テロなどの不可抗力、その他、当社の責任と認められない損害には、当社は一切責任を負いません。

#### 通知事項

- ・性能等の詳細につきましては、別途「性能試験報告書」を用意しております。ご入用の際は、右記の「問合せ先」まで、お申し付けください。
- ・本カタログの掲載内容は、2024年4月現在のものです。
- ・本カタログの掲載の商品は、仕様、外観などを予告なく変更することがあります。
- ・本カタログの掲載してある商品の色は、印刷の関係上、実際と若干異なる場合があります。
- ・本カタログの掲載内容は、全て当社に著作権の存するものです。無断の複製は固くお断りします。



株式会社 リケン

ホームページ <http://www.riken.co.jp>



**0120-212-016**

携帯電話、PHSからは……(0766) 25-0421 FAX(0766) 25-0433

本社 〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1  
TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)773-8825 名古屋 ☎(052)201-8681  
大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)287-9582

